

保険者シートの開発のねらい

【現状の課題】

- 課題1 これまでは保険者の全体像を簡易に現す適切な資料がない。
- 課題2 これまでは共通の指標がないため、地域間比較、時系列分析の基準がない。
- 課題3 地域包括ケアシステムの構築を進めるためには、保険者機能の強化が求められており、介護保険の運営状況（地域診断）の評価が不可欠である。

【開発のねらい】

上記の課題に対応し、保険者共通で簡易なツールを開発することが必要であると判断。

→ 「保険者シート」の開発

【想定する活用方法】

- 保険者自らが「保険者シート」を記入（作成）し、公表し、説明すること。
- 国の地域包括ケア「見える化」システムの利用に併せて、「保険者シート」活用すること。
- 「保険者シート」の理解・活用を進めるためには、グループワークが有効である。
- 「保険者シート」が保険者（市町村）に普及し、多くの活用事例が蓄積され、各地で地域包括ケアシステムの構築が進むことを期待する。

保険者シートの基本コンセプト等

- (1) 公表データから作成するものであること。
- (2) データを利用して、簡単に作成できること。
- (3) 時系列の分析が可能とすること。
- (4) 地域間比較が可能とすること。
- (5) 保険者の位置が分かること。
- (6) 保険者の進むべき方向が分かること。

※ A 4 サイズ・裏表記載、1 保険者で 1 枚。

※ 様々な分析のページも想定されており、活用が広がる見込み。

※ 保険者、都道府県、国・研究機関・民間・事業所・NPO 等での活用が想定される。